調査票（続き）

第2 裁判員になることができない職業

当てはまらない

Q&Aの ア 記載の職業のいずれかに当てはまる場合には、裁判員になることができません。当てはまるものがある場合には、次の 1 に ○ をつけてください。 ア を参照

1 該当する。→ 職業等がわかる身分証明書の写し等の資料が必要です。

第3 裁判員になることが特に難しい特定の月がある場合

希望しない

2か月を上限に、【辞退を希望する月】を記入し、その【理由】の番号 1 ～ 6 に ○ をつけてください。あわせて、【具体的な事情】を記入してください。 イ を参照

その1

【辞退を希望する月】 月

ひと月のみ記入してください。

【理由】
1 仕事上の事情
2 重要な用事・予定
3 出産予定
4 重い病気又はケガ
5 介護等
6 育児

【具体的な事情】

その2

【辞退を希望する月】 月

ひと月のみ記入してください。

【理由】
1 仕事上の事情
2 重要な用事・予定
3 出産予定
4 重い病気又はケガ
5 介護等
6 育児

【具体的な事情】

資料の例　診断書の写し、医療費の内容が分かる領収書の写し、要介護認定者であることを証する書面の写し、介護保険証の写し、障害者手帳の写し等

第4 氏名・住所の変更があった場合は、変更後の氏名・住所を記入してください

変更なし

【変更後の氏名】
氏　　名

【変更後の住所】 〒□□□-□□□□
都道府県　　区市郡

これで終わりです。きりとり線で切り離し、同封の返送用封筒に入れて返送してください。

調査票や提出された資料に記載された個人情報は、適切に管理し、裁判員裁判に関する事務以外で利用することはありません。

第1から第4の事由に当てはまらない方は、ご提出いただく必要はありません。

きりとり線

調査票提出にあたっての注意事項

■この調査票は、裁判員候補者の方の事情を早期に把握するためのものです。これにより、1年間を通じて明らかに辞退が認められる場合等には、裁判所にお越しいただくことのないようにします。

■個別の事情（仕事、重要な用事、介護、育児等）により辞退を希望される方については、基本的に、この調査票ではなく、具体的な事件の裁判員候補者となった際に改めて郵送される質問票等でお聞きすることを予定しています。したがって、今回お送りしたこの調査票には、1年間を通じて辞退できる一定の事情がある場合（調査票の第1参照）、又は、裁判員になることが特に難しい特定の月が現時点で既に決まっている場合（調査票の第3参照）のみ、事情を記載してください。

■調査票はきりとり線で切り離してご提出ください。

■資料を提出される場合には、以下の点にご注意ください。

資料は返却できないため、コピーをご提出ください。

- 資料にマイナンバーが記載されている場合は、必ずマイナンバー部分を隠してコピーしてください。
- 記載が両面にある資料は両面をコピーしてください。
- コピーはできる限りA4サイズとし、原則右下余白に同封のバーコードシールを貼ってください。

例：学生証など

調査票記入のためのQ&A

ア

Q 裁判員になることができない職業（調査票第2）とは、具体的にはどのような職業ですか。

A 次のような職業の方です。

- 国会議員、国務大臣、都道府県知事、市町村（特別区を含む）長
- 国の行政機関の一定の幹部職員
- 司法警察職員としての職務を行う人
- 国家公安委員会委員及び都道府県公安委員会委員並びに警察職員（非常勤を除く）
- 自衛官
- 裁判官、検察官及びそれらの職にあった人
- 弁護士、弁護士であった人（外国法事務弁護士を含む）
- 弁理士、司法書士、公証人
- 学校教育法に定める大学の学部、専攻科又は大学院の法律学の教授又は准教授
- 判事、判事補、検事又は弁護士となる資格を有する人
- 裁判所及び法務省の職員（非常勤を除く）、司法修習生

イ

Q 辞退を希望する月（調査票第3）を記入する際の【具体的な事情】には、どのようなことを書けばよいのですか。

A **仕事上の事情** がある方は、

【①仕事の内容】
事業（仕事）の業種、自営・お勤めの別、あなたの担当している仕事の内容、その仕事におけるあなたの立場や役割等を具体的に記入してください。

【②その月に辞退を希望する理由】
その月が繁忙期である事情（決算期、農繁期等）、他の方に仕事を代わってもらえない事情（少人数、専門性がある、引継困難等）、仕事を休むことによる影響・損害（売上減による損害の発生等）など、辞退を希望する具体的な理由を記入してください。

重要な用事・予定 がある方は、

【①予定時期】
【②具体的な内容、事情】
重要な予定の内容（冠婚葬祭、試験、行事等）、他の日時に振り替えられない事情等を具体的に記入してください。

介護等 を行う必要のある方は、

あなたと介護等を必要とする方との関係、その方の心身の状態、要介護認定等を受けられている場合はその区分、記載した月にあなたが介護等を行う必要がある事情（他に養育を担当していただける方が繁忙である、その月に入退院や通院に付き添う予定がある等）等を具体的に記入してください。

育児 を行う必要のある方は、

あなたと養育を必要とする方との関係、その方の年齢、記載した月にあなたが養育を行う必要がある事情（他に養育を担当していただける方が繁忙である等）等を具体的に記入してください。